

全学科目 2013年度 前学期 授業評価		平均値	標準偏差	まったくそう思わない	あまりそう思わない	どちらとも言えない	だいたいそう思う	強くそう思う	計(人)					
平均値は、授業の無遅刻出席率が50%以下の学生の回答を除外して計算した(設問bを除く)。頻度表は、回答者全員を掲載した。														
授業について	Q1. 教員は授業細目(シラバス)を説明し、それに記載されている講義主題に沿って講述した。	3.77	0.85	5	2	12	39	8	66					
	Q2. 授業の学習目標や意義, 価値, 有用性などが明確に説明された。	3.68	0.83	3	4	21	28	10	66					
	Q3. この授業は有意義だった。	3.84	0.95	5	3	18	26	14	66					
	Q4. 受講前よりも, 授業で取り扱う課題に対し関心が高まった。	3.64	0.88	4	5	19	29	9	66					
	Q5. 教員は, 学生のレベルや理解度をよく把握して授業していた。	3.07	1.09	10	7	27	17	4	65					
	Q6. 教員は, 授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた。	3.45	0.99	6	7	20	27	6	66					
	Q7. 板書, 情報機器などの教具の使い方は適切であった。	3.95	0.64	3	1	15	36	11	66					
	Q8. 教科書や配付資料などの教材内容は適切であった。	3.77	0.87	5	1	17	34	9	66					
	Q9. 教員の説明はわかりやすかった。	3.27	1.06	9	7	22	22	5	65					
	Q10. 教員の授業中の声は聞き取りやすかった。	4.13	0.72	3	1	10	33	19	66					
	Q11. この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	3.91	0.86	4	1	17	29	15	66					
	Q12. ただ教科書を読むより, 授業を聴いた方がより理解できた。	3.59	1.02	7	5	17	27	10	66					
	Q13. 教科書・参考書の指定は適切だった。	3.22	0.95	5	8	28	19	4	64					
	Q14. 小テストやレポートは勉強をする上で有効だ(小テストやレポートのなかったクラスも自分の考えを書くこと)。	3.77	0.91	6	1	12	38	9	66					
	Q15. 数学相談室は必要である。	3.77	0.81	2	0	31	18	14	65					
	Q16. 数学相談室を利用したことがある。 ① 0回, ② 1~2回, ③ 3~5回, ④ 6~9回, ⑤ 10回以上	1.68	1.05	40	12	8	3	2	65					
自分自身の学習行動	a. 本授業科目に関し, 教室外での勉強(予習・復習・宿題・関連学習等)を行った。[本授業科目に関し教室外で自習した平均時間数/週ほどの程度か示して下さい]	~5min ~30min ~60min ~3h ~5h 5h~							計(人)					
		16	23	10	9	3	1	62						
総合評価		平均	標準偏差	0-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	計(人)
	b. 授業の無遅刻出席率(100%)	81.2	26.2	4	0	2	1	2	0	5	2	8	41	65
	c. 自分の受講態度(100点満点)	63.4	18.5	3	2	6	2	6	11	12	14	5	4	65
	A. 授業の内容の理解度(100点満点)	55.1	21.0	4	4	4	5	10	15	7	10	3	3	65
B. 学習目標の達成度(100点満点)	59.7	21.0	4	2	5	1	4	19	10	10	5	4	64	
C. 授業の満足度(100点満点)	65.1	20.9	5	1	3	0	6	11	14	12	7	6	65	

注)設問 b, c, A~Cの平均値の算出は、各選択肢の割合範囲又は得点範囲の中央値によって計算した。例えば81-90点は85.5点として平均計算される。

身分	学部学生	修士学生	博士学生	科目等履修生	研究生	その他	不明	合計
	64	0	0	1	0	0	1	66

入学年度	2005年以前	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	不明	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	60	6	66



平成25年度前期 全学科目 授業評価 教員別 Radar Chart

1008 T 微分積分学第一  
山田 光太郎 先生

